



2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月13日

上場会社名 株式会社フルスピード 上場取引所 東
 コード番号 2159 URL http://www.fullspeed.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友松 功一
 問合せ先責任者 (役職名) グループ経営管理本部副本部長 (氏名) 栗田 洋 TEL 03-5728-4460
 四半期報告書提出予定日 2019年9月17日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2020年4月期第1四半期の連結業績（2019年5月1日～2019年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	5,421	4.0	232	△23.3	237	△19.9	137	△22.3
2019年4月期第1四半期	5,210	8.1	303	△17.5	296	△20.4	176	△23.9

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 140百万円 (△21.0%) 2019年4月期第1四半期 178百万円 (△22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	8.82	—
2019年4月期第1四半期	11.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期第1四半期	6,977	3,741	53.4	239.33
2019年4月期	6,857	3,641	53.0	233.31

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 3,724百万円 2019年4月期 3,632百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2020年4月期の連結業績予想（2019年5月1日～2020年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,400	4.1	1,350	8.2	1,340	12.6	760	33.7	48.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期1Q	15,571,000株	2019年4月期	15,571,000株
② 期末自己株式数	2020年4月期1Q	46株	2019年4月期	46株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年4月期1Q	15,570,954株	2019年4月期1Q	15,570,985株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料）

速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済・金融政策などを背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善により個人消費が持ち直し、総じて緩やかな回復基調が続いている一方で、先行きについては、米中の貿易摩擦や欧州経済の不安感など、世界経済の不透明な状況が続いています。

当社グループの主たる事業領域である国内インターネット広告市場におきましては、2018年には前年比16.5%増の約1兆7千589億円（出所：株式会社電通「2018年 日本の広告費」）となり高い成長を示しました。

また、動画メディアの台頭に伴う動画広告市場の伸長や、デバイスの多様化に加え、ソーシャル・メディアの普及、大容量データを処理する広告関連技術（アド・テクノロジー）を活用したプラットフォームの開発・高度化が加速する等、インターネット広告市場においては、広告主のターゲットとするユーザーに対し、適正にアプローチできる広告サービスが期待されております。

このような事業環境の下、当社グループは、テクノロジー & マーケティングカンパニー をスローガンに掲げ、インターネットマーケティング事業や、「ADMATRIX DSP」、「afb」を中心とするアドテクノロジー事業の展開を強化しております。一方で、当社グループのコアアセットである、日本国内で蓄積されたマーケティングやテクノロジー基盤開発を活用した、戦略ドメインである”ヘルスケア”、”BtoB”、”クロスボーダー”領域における経営資源の積極活用を実施して参りました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は5,421,266千円（前年同期比4.0%増）、営業利益232,756千円（前年同期比23.3%減）、経常利益237,236千円（前年同期比19.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は137,382千円（前年同期比22.3%減）となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりです。

<インターネットマーケティング事業>

「コンサルティング力×伴走力×信頼性×独自商材」を軸に中堅企業No.1のマーケティングパートナーを目指し、サービス拡販に取り組んでまいりました。また、ソーシャルメディアマーケティング*1、リスティング広告*2、コンテンツマーケティング*3、アフィリエイト広告*4などの各種サービスの拡販に取り組む一方で、国内で蓄積されたマーケティングノウハウの海外展開を実施してまいりました。

一方で、競争力の創造及び収益性の向上を実現するため、ヘルスケア関連領域での更なる専門性・優位性を持つべく、事業構造の転換を推し進めてまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は2,087,221千円（前年同期比4.9%減）となりました。

<アドテクノロジー事業>

アドテクノロジー事業において、拡大するディスプレイ広告市場を背景に、B to Bマーケティング支援型のDSP*5「ADMATRIX DSP」を自社ブランドで展開し、データ連携に伴う独自技術によるターゲティング精度向上など、顧客満足度向上に取り組んでまいりました。一方で、拡大する動画広告市場に向けて、ブランディング広告に特化した取組を開始し、積極的な拡販を図っております。

また、子会社である株式会社フォーイットにおいて、ASP*6として当社が自社開発したアフィリエイトプラットフォーム「afb」が順調に事業拡大し、市場において確固たるポジションの獲得に至っております。今後は中長期目線でのアジア展開を加速し、将来的にはASEAN No.1のアフィリエイトプラットフォーム事業になるべく積極的な事業展開を推進致します。

以上の結果、当事業の売上高は3,919,352千円（前年同期比10.3%増）となりました。

<その他>

その他の区分には、情報メディアサイトの運営、広告ソリューションにおいて付随して発生するWEBサイト、パートナー、及びLP制作等が含まれており、売上高は123,060千円（前年同期比27.0%減）となりました。

- *1 ソーシャルメディアマーケティング : ソーシャルメディア上での情報発信により、人々の繋がりを通じて拡散されるマーケティング手法。
- *2 リスティング広告 : 検索したキーワードに応じて、検索エンジンの検索結果のページに設定された広告枠に表示されるテキスト広告。
- *3 コンテンツマーケティング : 自社Webサイト等への訪問者を増やしたい顧客に対して、コンテンツの制作/配信をはじめとする各種インターネット広告手法を用いて課題解決するサービス。
- *4 アフィリエイト広告 : Webサイトやブログ等が企業サイトへバナーやテキスト広告を張り、閲覧者がその広告を経由して当該企業のサイトで会員登録したり商品を購入したりすると、サイトの運営者に報酬が支払われるという成果報酬型の広告手法。
- *5 DSP (Demand Side Platform) : 広告主サイドの広告効果の最大化のため、広告主サイドが広告出稿の際に使用する広告配信プラットフォーム。
- *6 ASP (アフィリエイト・サービス・プロバイダー) : 広告主、自社サイトで広告を掲載したい企業及び個人を仲介する役割を担う事業者。

(2) 財政状態の概況

(資産)

流動資産は6,418,420千円となり、前連結会計年度末に比べて134,440千円増加しました。これは、主に売掛金の増加によるものであります。固定資産は558,679千円となり、前連結会計年度末に比べて14,829千円減少しました。これは、主に繰延税金資産が減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は2,707,668千円となり、前連結会計年度末に比べて100,254千円減少しました。これは、主に未払法人税等及び未払金の減少によるものであります。

固定負債は527,570千円となり、前連結会計年度末に比べて119,750千円増加しました。これは、主に長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は3,741,860千円となり、前連結会計年度末に比べて100,114千円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月14日に発表しました「2019年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

また、上記の予想は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,813,159	3,746,735
受取手形及び売掛金	2,340,282	2,544,610
前払費用	80,254	71,828
未収還付法人税等	—	6,560
未収入金	9,942	6,369
その他	40,799	42,525
貸倒引当金	△458	△208
流動資産合計	6,283,980	6,418,420
固定資産		
有形固定資産		
建物	232,456	231,753
減価償却累計額	△103,786	△109,832
建物(純額)	128,669	121,920
工具、器具及び備品	241,827	243,646
減価償却累計額	△211,960	△212,096
工具、器具及び備品(純額)	29,867	31,549
有形固定資産合計	158,537	153,470
無形固定資産		
ソフトウェア	14,349	13,404
のれん	52,431	47,989
その他	52	52
無形固定資産合計	66,833	61,446
投資その他の資産		
投資有価証券	10,235	10,238
関係会社株式	33,478	34,645
破産更生債権等	184,471	183,187
繰延税金資産	112,058	105,482
差入保証金	192,357	193,387
その他	5,252	5,252
貸倒引当金	△189,715	△188,432
投資その他の資産合計	348,138	343,762
固定資産合計	573,508	558,679
資産合計	6,857,489	6,977,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,845,424	1,969,459
短期借入金	9,000	—
1年内返済予定の長期借入金	191,000	221,000
未払金	152,637	100,897
未払法人税等	102,088	95,195
未払消費税等	50,806	46,102
賞与引当金	87,297	109,197
その他	369,669	165,817
流動負債合計	2,807,923	2,707,668
固定負債		
長期借入金	377,500	497,250
資産除去債務	30,320	30,320
固定負債合計	407,820	527,570
負債合計	3,215,744	3,235,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	898,887	898,887
資本剰余金	869,887	869,887
利益剰余金	1,853,952	1,944,621
自己株式	△44	△44
株主資本合計	3,622,682	3,713,351
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	61
為替換算調整勘定	10,074	13,160
その他の包括利益累計額合計	10,133	13,222
非支配株主持分	8,929	15,286
純資産合計	3,641,745	3,741,860
負債純資産合計	6,857,489	6,977,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
売上高	5,210,813	5,421,266
売上原価	4,179,087	4,399,913
売上総利益	1,031,726	1,021,352
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	323,169	363,532
地代家賃	59,229	64,371
貸倒引当金繰入額	△716	△1,533
賞与引当金繰入額	20,000	21,900
減価償却費	9,804	9,115
のれん償却額	3,284	4,441
その他	313,569	326,767
販売費及び一般管理費合計	728,342	788,596
営業利益	303,384	232,756
営業外収益		
受取利息	2	191
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	—	1,166
雑収入	—	9,594
その他	345	727
営業外収益合計	348	11,680
営業外費用		
支払利息	985	724
支払手数料	2,415	1,709
為替差損	1,290	4,054
持分法による投資損失	2,066	—
その他	864	712
営業外費用合計	7,622	7,200
経常利益	296,109	237,236
税金等調整前四半期純利益	296,109	237,236
法人税、住民税及び事業税	107,736	92,922
法人税等調整額	11,744	6,574
法人税等合計	119,481	99,497
四半期純利益	176,628	137,739
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△167	357
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,796	137,382

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益	176,628	137,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	2
為替換算調整勘定	1,573	3,086
その他の包括利益合計	1,588	3,088
四半期包括利益	178,216	140,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,627	140,470
非支配株主に係る四半期包括利益	△411	357

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年5月1日 至2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネット マーケティング事 業	アドテクノロジー 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,193,255	2,936,498	5,129,753	81,059	5,210,813
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,050	618,212	619,262	87,620	706,882
計	2,194,305	3,554,711	5,749,016	168,680	5,917,696
セグメント利益	140,055	295,322	435,378	10,646	446,025

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報メディア事業、クリエイティブ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	435,378
「その他」の区分の利益	10,646
セグメント間取引消去	△1,992
全社費用(注)	△140,648
四半期連結損益計算書の営業利益	303,384

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年5月1日 至2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	インターネット マーケティング事 業	アドテクノロジー 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,068,933	3,257,992	5,326,925	94,340	5,421,266
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,287	661,359	679,647	28,720	708,368
計	2,087,221	3,919,352	6,006,573	123,060	6,129,634
セグメント利益	87,080	289,133	376,213	△9,557	366,656

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報メディア事業、クリエイティブ事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	376,213
「その他」の区分の利益	△9,557
セグメント間取引消去	934
全社費用(注)	△134,835
四半期連結損益計算書の営業利益	232,756

(注) 全社費用は、各報告セグメントに配分していない営業費用であり、主に管理部門に係る費用であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。